

特許第三七七四六號

第九十一類

出願 大正六年六月十四日
特許 大正九年十二月二十四日

三重縣志摩郡的矢村渡鹿野四百四十四番地

特許權者(發明者)

見

瀬

辰

平

三重縣志摩郡的矢村渡鹿野十七番屋敷

特許權者(發明者)

上

田

元

之助

長崎縣東彼杵郡大村玖島郷二十一番地

特許權者

大村灣真珠株式會社

長崎縣東彼杵郡大村玖島郷二十一番地

特許權者

佐

藤

林

三

明細書

球形真珠形成法

發明ノ性質及ヒ目的ノ要領

本發明ハ生貝ノ内臓ト外套膜トノ連着部ヨリ外套膜ノ外皮ニ向ヒ數箇ノ毛細孔ヲ作成シ然ル後核ヲ毛細孔ニ接シテ其連着部ニ挿入シ放養シテ球形真珠ヲ形成セシムル方法ニ係リ其目的トスル所ハ豫メ作成セル毛細孔ノ爲メニ核ニ向テ外套膜上覆細胞ヲ分裂輸導スルノ作用ヲ促カシ以テ迅速ニ核ノ周圍ニ獨立ノ真珠袋ヲ構成セシムルコトニ依リ短期間ニ大ナル球形真珠ヲ確實ニ形成セシムルヲ得ルニ在リ

圖面ノ略解

別紙圖面ノ第一圖ハ本發明ノ實施方ヲ示セル要部ノ廓大断面圖第二圖ハ第一圖ノ如ク施術セル後核ニ向ツテ外套膜上覆細胞カ毛細孔ヲ通シテ分裂移動スル状態ヲ示セル廓大圖第三圖ハ數日間ヲ經タル後核ノ周圍ニ眞珠袋ノ構成セラル、状態ヲ示セル廓大断面圖ナリ

發明ノ詳細ナル説明

圖面ニ於テ「1」ハ貝ノ内臟中ノ肝臟實質、2ハ内臟中生殖線組織、3ハ外套膜組織、4ハ貝殻ニ接スル外套膜ノ上覆細胞即チ外皮、5ハ核ヲ挿入スル切開通路、6ハ通路ノ内端即チ核ノ留置セラルヘキ箇處ヨリ更ニ外套膜ノ外皮ニ向ヒテ作成セル毛細孔、7ハ核、8ハ眞珠袋ナリ

本發明ハ貝ノ内臟ト外套膜内面ノ連着部ヨリ外套膜ノ外皮ニ向ヒ適宜ノ器具ヲ用ヒテ數箇ノ毛細孔ヲ作成シ次ニ核ヲ其毛細孔ニ接シテ内臟部ト外套膜内面トノ連着部ニ挿入シ然ル後放養シテ圓形眞珠ヲ形成セシムルコトヲ要旨トスルモノニシテ左ニ之カ實施ノ一例ヲ説明スヘシ

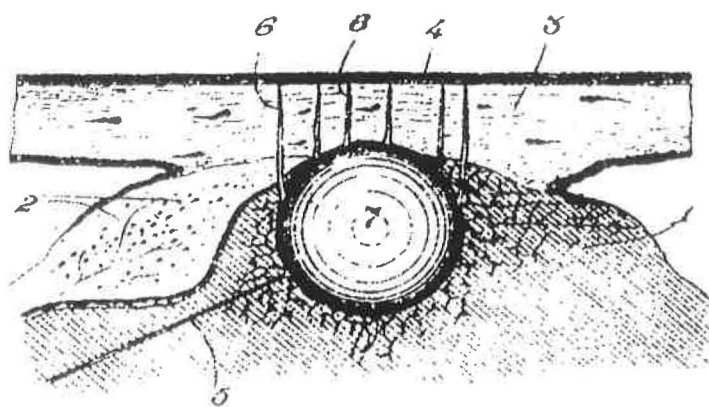
先ツ生活セル眞珠貝ヲ採リ其殼ヲ開キ銳刀ヲ以テ足筋肉ノ一部ヨリ内臟即チ肝臟實質「1」若クハ生殖線組織「2」等ト外套膜組織「3」トノ連着部ニ向テ核挿入用ノ通路「5」ヲ切開シ此通路ノ端ヨリ更ニ外套膜ノ外皮「4」ニ向ヒ適當ノ器具例ヘハ球面ノ一部ニ於テ數箇ノ微細ナル針ヲ自在ニ出入セシムヘク構成セル球杆ノ如キモノヲ以テ外套膜組織中ニ數箇ノ毛細孔「6」ヲ作成シ次ニ其通路「5」ヨリ核「7」ヲ挿入シ毛細孔「6」ニ接シテ之ヲ留置セシメ然ル後海中ニ養殖スルモノトス

前記ノ工程ヲ施ストキハ毛細孔「6」カ細胞組織ノ分裂癒着作用ニヨリ閉塞サル、以前ニ於テ該毛細孔作成ニ依ル損傷刺激ノ爲メ外套膜上覆細胞ノ分裂作用ヲ誘起シ細胞ハ第二圖ニ示ス如ク分裂増殖シテ内部ニアル核ニ向ヒテ進入シ終ニ核「7」ノ周圍ヲ圍繞スルニ至リ僅ニ數日間ニシテ核ノ周圍ニハ第三圖ニ示ス如ク外套上覆細胞ヨリ成ル單獨ナル眞珠袋「8」ヲ形成スルモノトス此ノ如ク核ノ周圍ニ眞珠形成ノ要素タルヘキ眞珠袋ヲ短時間ニ而カモ完全ニ構成シ得ルヲ以テ本發明ハ大ナル球形眞珠ヲ短期間ニ確實ニ形成セシムルニ適切ノ方法ナ

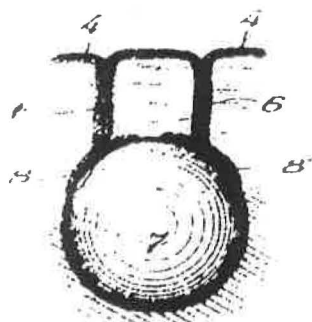
待許請求ノ範圍

一 前文記載ノ目的ニ於テ眞珠養殖ニ適スヘキ生貝ノ内臓ト外套膜トノ連着部ヨリ外套膜ノ外皮ニ向ヒ數箇ノ毛細孔ヲ作成シ然ル後核ヲ該毛細孔ニ接シテ其連着部ニ挿入スルコトヲ特徴トスル球形眞珠形成法

圖一第



圖二第



圖三第

